

産業環境委員会報告資料

令和4年9月27日

報告事項件名	頁
(1) 再エネ100電力導入協力金の申請および電力事業者の状況について	2
(2) 節電応援キャンペーンの実施及び省エネ補助金等の拡充について	3
(3) 第三次足立区環境基本計画改定版の指標の進捗状況について	4
(4) 脱炭素ロードマップの検討状況について	19
(5) 区施設における二酸化炭素排出量、ごみ量について	20
(6) あだち再生館機能の移転について	22
(7) 清掃事業現業職員の令和4年度採用選考実施について	25
(8) アスベスト事前調査の資格取得講習会の開催について	26

(環境部)

産業環境委員会報告資料

令和4年9月27日

件名	再エネ100電力導入協力金の申請および電力事業者の状況について
所管部課名	環境部環境政策課
内 容	<p>再エネ100電力導入協力金の申請状況および電力契約の受付代行事業者・電力供給事業者へのヒアリングを行ったので以下のとおり報告する。</p> <p>1 協力金の申請状況</p> <p><u>35件/500件（9月2日現在）</u></p> <p>※ 申請の条件として、3か月分の領収書の写しが必要となるため、今後申請件数が増える可能性あり</p> <p>2 事業者へのヒアリング結果</p> <p>(1) 電力契約の受付代行事業者へのヒアリング</p> <p>現在、携帯電話会社の電力受付は継続しているが、携帯電話会社からのインセンティブが全くないため、<u>積極的なPRは行っていない。</u></p> <p>※ 今後、区のチラシを各店舗に置いてもらえることになった。</p> <p>(2) 電力供給事業者へのヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北千住マルイと協働し、令和4年4月～7月で60件弱の方が新規申し込み済。今後も足立区の再エネ100電力協力金を案内し、新規契約者を獲得していく予定。 ・ 現在、既存契約を維持することに注力している。<u>新規受付は停止しており再開の目途はたっていない。</u> <p>※ 既存契約者への情報提供についても各事業者に打診した。</p> <p>3 電力市場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的な燃料や資源の価格高騰、電力市場価格の高騰 ・ 6月初旬時点で新電力のうち104社が倒産や廃業、または電力事業の契約停止や撤退などを行った（帝国データバンク）。
問題点 今後の方針	<p>本事業は、家庭部門における脱炭素化の有力な手法であるため、引き続き電力契約受付代行事業者や電力供給事業者との連携の可能性について、検討していく。</p>

産業環境委員会報告資料

令和4年9月27日

件名	節電応援キャンペーンの実施及び省エネ補助金等の拡充について																																
所管部課名	環境部環境政策課																																
内容	<p>1 節電応援キャンペーンの実施について</p> <p>東京都が実施している「家庭のゼロエミッション行動推進事業（東京ゼロエミポイント）」の交付を受けた区民を対象に、区内共通商品券を支給することで区民の省エネ行動を促進するとともに、区内経済活性化を図る。</p> <p>(1) 節電応援キャンペーン概要</p> <table border="1" data-bbox="416 817 1428 1137"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象商品</th> <th colspan="2">都商品券・割引券</th> <th rowspan="2">区内共通商品券 (追加交付分)</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>商品券</th> <th>LED 割引券</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エアコン、冷蔵庫、 給湯器 (3,400 人)</td> <td>6,000 円～ 20,000 円</td> <td>1,000 円</td> <td>3,000 円</td> <td>10,000 円～ 24,000 円</td> </tr> <tr> <td>LED照明器具 (100 人)</td> <td>3,000 円～ 5,000 円</td> <td>なし</td> <td>1,000 円</td> <td>4,000 円～ 6,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 受付開始予定時期 令和4年11月1日（火）</p> <p>(3) 支給回数 対象商品を問わず申請は、1人1回のみとする。</p> <p>2 省エネ補助金等の拡充について</p> <p>令和4年度の電気自動車等購入費補助金及び省エネリフォーム補助金の申請件数が例年より多く、9月中には受付が終了する見込みとなったため、受付予定件数を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="395 1597 1434 1910"> <thead> <tr> <th></th> <th>電気自動車等購入費補助金 (10万円/件)</th> <th>省エネリフォーム補助金 (5万円/件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額</td> <td>10,000千円 (100件)</td> <td>10,000千円 (200件)</td> </tr> <tr> <td>9月までの実績値</td> <td>15,000千円 (150件)</td> <td>12,500千円 (250件)</td> </tr> <tr> <td>今回補正額</td> <td>7,000千円 (70件)</td> <td>5,000千円 (100件)</td> </tr> <tr> <td>年間予算額</td> <td>22,000千円 (220件)</td> <td>17,500千円 (350件)</td> </tr> </tbody> </table>	対象商品	都商品券・割引券		区内共通商品券 (追加交付分)	合計	商品券	LED 割引券	エアコン、冷蔵庫、 給湯器 (3,400 人)	6,000 円～ 20,000 円	1,000 円	3,000 円	10,000 円～ 24,000 円	LED照明器具 (100 人)	3,000 円～ 5,000 円	なし	1,000 円	4,000 円～ 6,000 円		電気自動車等購入費補助金 (10万円/件)	省エネリフォーム補助金 (5万円/件)	当初予算額	10,000千円 (100件)	10,000千円 (200件)	9月までの実績値	15,000千円 (150件)	12,500千円 (250件)	今回補正額	7,000千円 (70件)	5,000千円 (100件)	年間予算額	22,000千円 (220件)	17,500千円 (350件)
対象商品	都商品券・割引券		区内共通商品券 (追加交付分)	合計																													
	商品券	LED 割引券																															
エアコン、冷蔵庫、 給湯器 (3,400 人)	6,000 円～ 20,000 円	1,000 円	3,000 円	10,000 円～ 24,000 円																													
LED照明器具 (100 人)	3,000 円～ 5,000 円	なし	1,000 円	4,000 円～ 6,000 円																													
	電気自動車等購入費補助金 (10万円/件)	省エネリフォーム補助金 (5万円/件)																															
当初予算額	10,000千円 (100件)	10,000千円 (200件)																															
9月までの実績値	15,000千円 (150件)	12,500千円 (250件)																															
今回補正額	7,000千円 (70件)	5,000千円 (100件)																															
年間予算額	22,000千円 (220件)	17,500千円 (350件)																															
問題点 今後の方針	補正予算成立後、交付要綱等に基づき執行する。																																

産業環境委員会報告事項

令和4年9月27日

件名	第三次足立区環境基本計画改定版の指標の進捗状況について						
所管部課名	環境部環境政策課						
内容	<p>第三次足立区環境基本計画改定版の指標について、令和3（2021）年度実績の数値がまとまったので、その概要を報告する。</p> <p>なお、計画の目標と比較しやすくするため、以下、西暦で表記する。</p> <p>1 2021年度の実績</p> <p>2021年度実績下の（目標達成率）は、2024年度目標に対する達成率を表す。</p>						
			指標と単位 （◆：低減目標）	2020年度 実績	2021年度 実績 （目標達成率）	2024年度 目標	推移等 記載頁
	柱1 地球温暖化・エネルギー対策						
	1-1	成果	区内のエネルギー使用量(TJ)◆	23,175	22,772 (82.0%)	18,679	8
		活動	助成制度による省エネ支援件数(件)	—	497 (121.2%)	410	9
		活動	省エネルギーを心がけている区民の割合(%)	46.4	48.2 (68.9%)	70.0	9
	1-2	成果	再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出削減効果量(t)	19,271	19,592 (89.1%)	22,000	9
		活動	区の助成による年間の太陽光発電の導入量(kW)	827	649 (76.4%)	850	10
		活動	再生可能エネルギーの導入量(累計)(kW)	39,280	40,410 (89.8%)	45,000	10

指標と単位 (◆：低減目標)		2020年度 実績	2021年度 実績 (目標達成率)	2024年度 目標	推移等 記載頁	
1-3	成果	区内の二酸化炭素吸収量 (t)	3,744	3,695 (94.7%)	3,900	10
	活動	樹木被覆地率 (%)	9.4	9.4 (95.9%)	9.8	10
	活動	緑化活動に実際に参加した区民の割合 (%)	13.5	17.3 (99.4%)	17.4	11
1-4	成果	熱中症や気象災害による死者数 (人) ◆	17	1 (—)	0	11
	活動	熱中症対策講座受講者数 (人)	—	1,435 (179.4%)	800	—
	活動	河川の氾濫時の避難場所を決めている区民の割合 (%)	77.0	77.9 (97.4%)	80.0	11
柱2 循環型社会の構築						
2-1	成果	区が把握できる廃棄物の量 (t) ◆	205,746	201,025 (93.5%)	188,000	11
	活動	区内のごみ量 (t) ◆	177,741	173,721 (91.1%)	158,400	12
	活動	1人1日あたりの家庭ごみ排出量 (g) ◆	547.2	532.8 (88.2%)	470	12

指標と単位 (◆：低減目標)		2020年度 実績	2021年度 実績 (目標達成率)	2024年度 目標	推移等 記載頁	
2-2	成果	燃やすごみに含まれる資源化物の割合 (%) ◆	—	16.3 (90.8%)	14.8	12
	活動	適正排出のための指導（ふれあい指導）件数（件） ◆	2,487	2,780 (58.7%)	1,632	13
	活動	雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している区民の割合 (%)	—	59.4 (84.9%)	70.0	—
2-3	成果	資源化率 (%)	19.98	19.79 (92.0%)	21.5	13
	活動	資源買取市の利用者数（人）	2,555	1,427 (22.0%)	6,500	13
	活動	環境に配慮した製品を選んで使っている区民の割合 (%)	11.6	10.9 (77.9%)	14.0	14
柱3 生活環境に維持・保全						
3-1	成果	公害苦情の相談件数（件） ◆	425	437 (53.1%)	232	14
	活動	公害苦情相談の解決率（解決件数／受付件数） (%)	110.6	95.0 (95.0%)	100	15
	活動	適切なアスベスト対策を行っている解体等工事現場の割合 (%)	—	69 (138.0%)	50	—

指標と単位 (◆：低減目標)		2020年度 実績	2021年度 実績 (目標達成率)	2024年度 目標	推移等 記載頁
3-2	成果	—	58.0 (116.0%)	50.0	—
	活動	53,113	52,452 (65.6%)	80,000	15
	活動	8,491	7,154 (102.0%)	7,298	15
柱4 自然環境・生物多様性の保全					
4-1	成果	—	31.4 (78.5%)	40.0	—
	活動	28,813	40,172 (12.9%)	310,240	16
	活動	3,094	2,838 (88.7%)	3,200	16
4-2	成果	27.2	62.9 (97.7%)	64.4	16
	活動	26	27 (90.0%)	30	16
	活動	1,169	1,218 (92.8%)	1,312	17

指標と単位 (◆：低減目標)		2020年度 実績	2021年度 実績 (目標達成率)	2024年度 目標	推移等 記載頁
柱5 学びと行動のしくみづくり					
5-1	成果	—	73.8 (92.3%)	80.0	—
	活動	330	529 (126.0%)	420	17
	活動	878	896 (93.5%)	958	17
5-2	成果	992	4,174 (298.1%)	1,400	17
	活動	60	69 (86.3%)	80	18
	活動	91	97 (102.1%)	95	18

2 実績の推移

柱1 地球温暖化・エネルギー対策

【1-1 成果】区内のエネルギー使用量(TJ) (低減目標)



オール東京62市区町村共同事業から提供される区内で使用された電力、石油類、ガス類を熱量換算したデータ(2013年度エネルギー使用量26,684TJ)

【1-1 活動】助成制度による省エネ支援件数（件）

新規指標により過去実績なし。

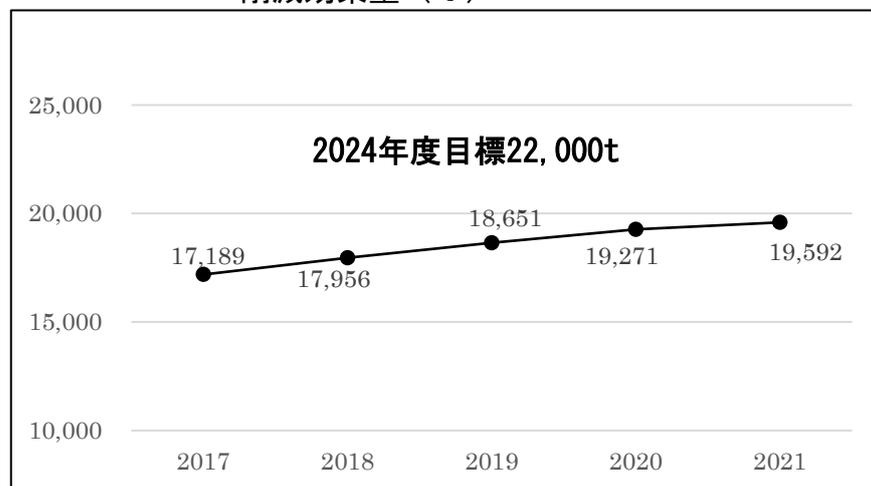
助成実績

- ・ 省エネリフォーム補助金 268 件
- ・ 電気自動車等購入費補助金 122 件
- ・ 集合住宅・事業所等LED照明設置費補助金 107 件

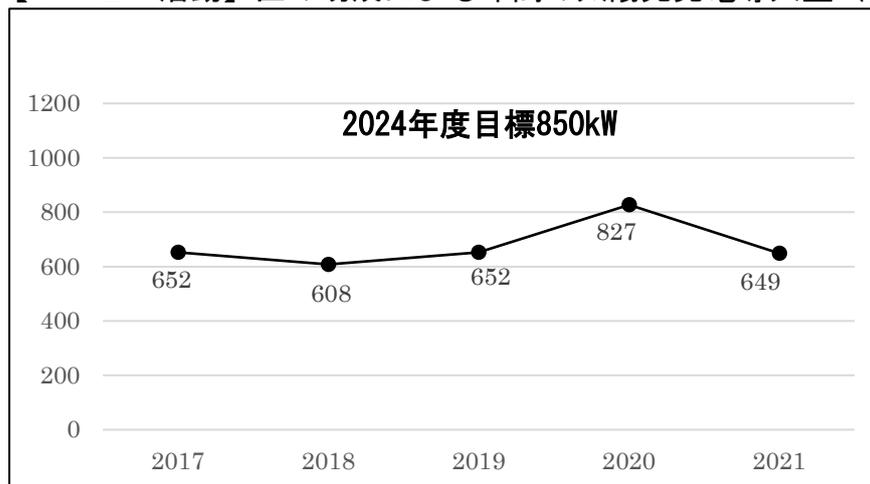
【1-1 活動】省エネルギーを心がけている区民の割合（％）



【1-2 成果】区内の再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出削減効果量（t）



【1-2 活動】区の助成による年間の太陽光発電導入量 (kW)



助成件数 2019年度：142件
 2020年度：183件
 2021年度：149件

2020年度の導入量増は、2019年10月の消費税増税の影響によるもの（申請期間は受電開始後1年間）

【1-2 活動】再生可能エネルギーの導入量（累計） (kW)



【1-3 成果】区内の二酸化炭素吸収量 (t)

2020年度実績・・・3,744t
 2021年度実績・・・3,695t

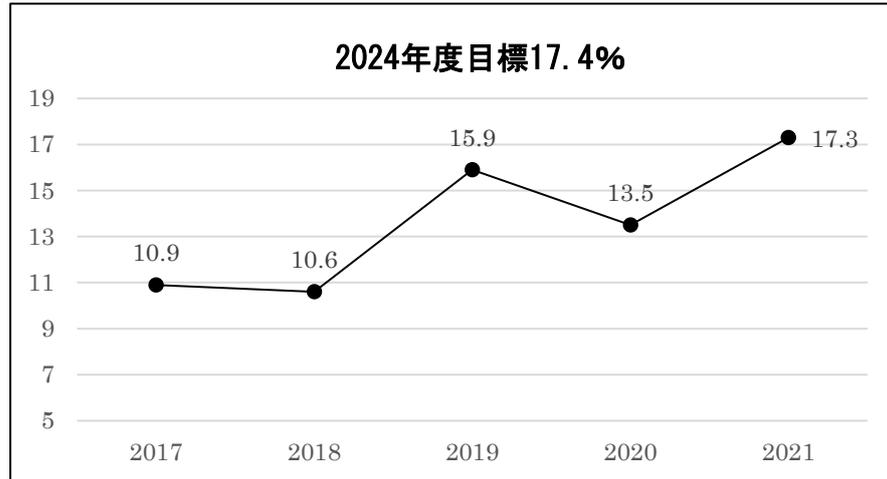
公園面積：3,094,545 m² (R2比△54,026 m²) 前年度比 △47t-CO₂/年
 街路樹総数：22,483本 (R2比△77本) 前年度比 △3t-CO₂/年

※ その他の緑地等での計算において端数処理あるため差がある。

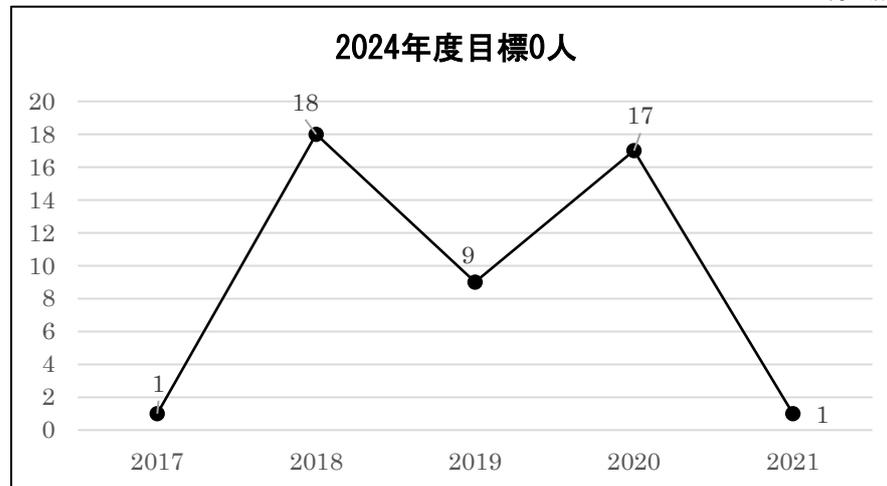
【1-3 活動】樹木被覆地率 (%)

おおむね5年おきの調査により実績を更新している。

【1-3 活動】緑化活動に参加した区民の割合（％）



【1-4 成果】熱中症や気象災害による死者数（人）（低減目標）



※ 2021年度実績の1名は熱中症による死者

【1-4 活動】河川の氾濫時の避難場所を決めている区民の割合（％）

2020年度実績 77.0%

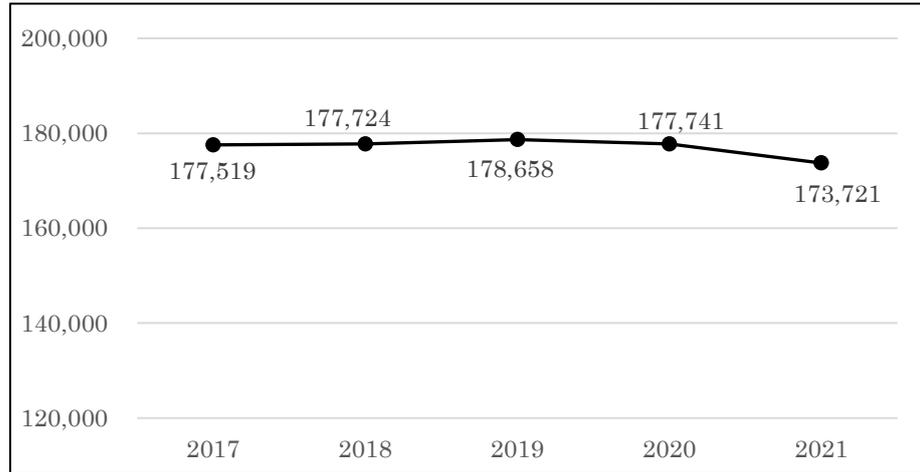
2021年度実績 77.9%

柱2 循環型社会の構築

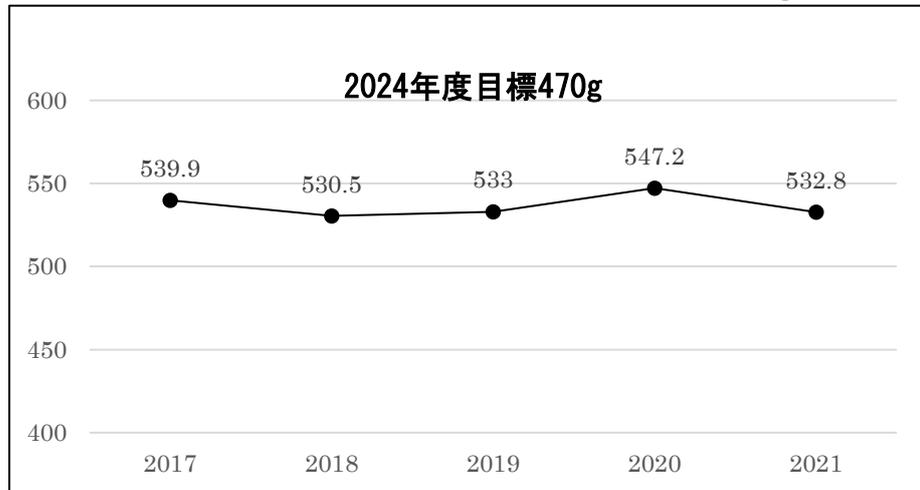
【2-1 成果】区が把握できる廃棄物の量（区収集ごみ＋資源化物＋事業系持込ごみ）（t）（低減目標）



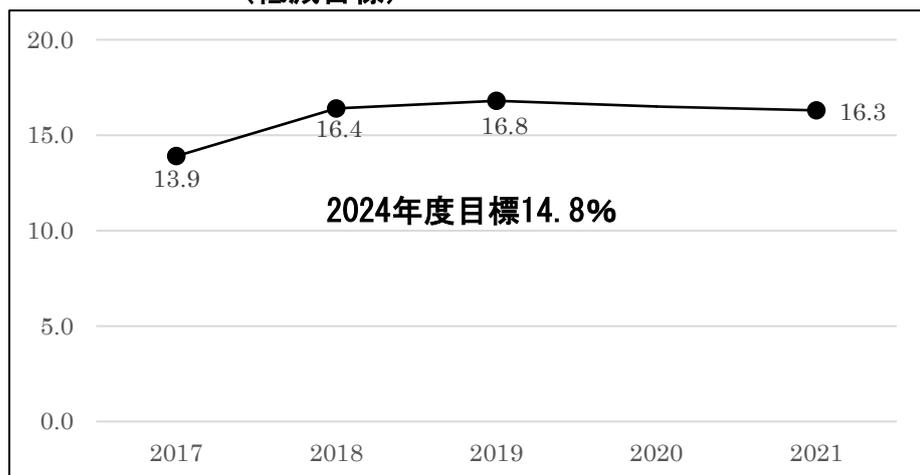
【2-1 活動】区内のごみ量（t）（低減目標）



【2-1 活動】1人1日あたりの家庭ごみ排出量（g）（低減目標）



【2-2 成果】燃やすごみに含まれる資源化物の割合（%）（低減目標）



※ 2020年度は組成調査未実施

【2-2 活動】適正排出のための指導（ふれあい指導）件数（件）
（低減目標）



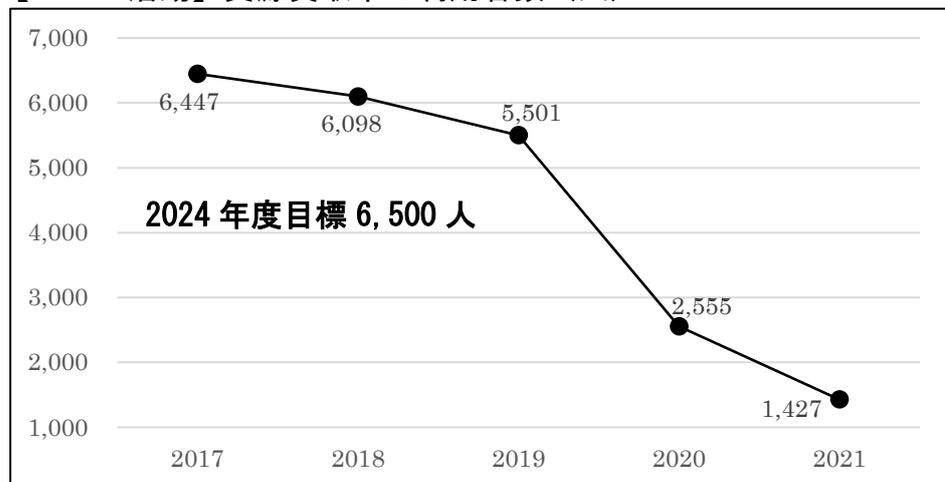
【2-3 成果】 資源化率（%）



資源化率

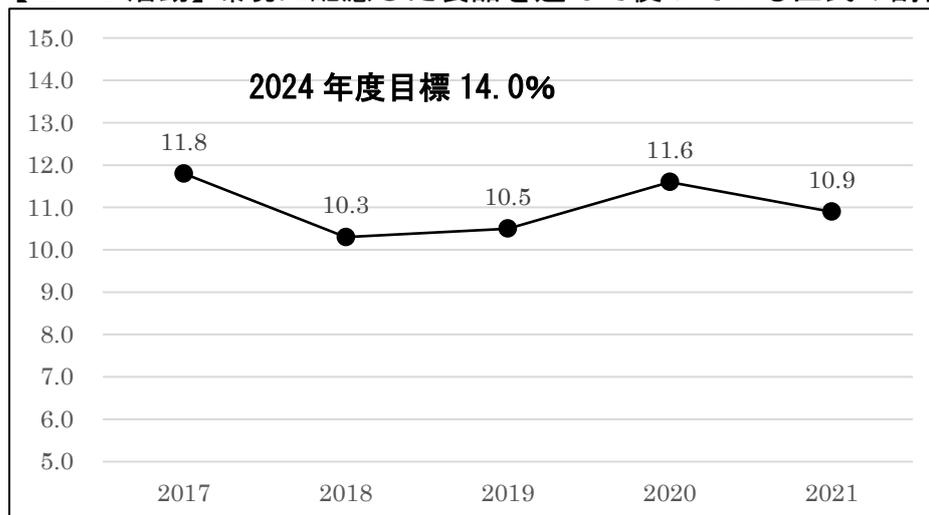
(資源回収量+燃やさないごみを資源化した量+粗大ごみを資源化した量) ÷ (区が収集したごみ量+区が収集した資源化物量+集団回収量)

【2-3 活動】 資源買取市の利用者数（人）



新型コロナウイルスの影響により、事業者の買取市を一部中止している状況が続いていることが実績の低下につながっている。

【2-3活動】環境に配慮した製品を選んで使っている区民の割合(%)

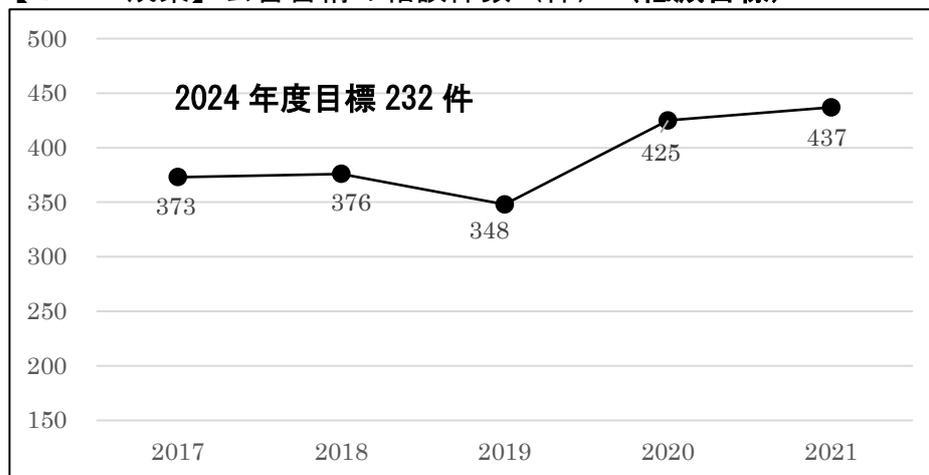


環境に配慮した製品とは

- ・ 天然由来成分や環境負荷が低い素材を使用した製品
- ・ エコマークや省エネ性マーク、再生紙利用マーク等が表示されている製品
- ・ Rマークがついたプラスチック製品やリサイクルコットンを使用した衣類等

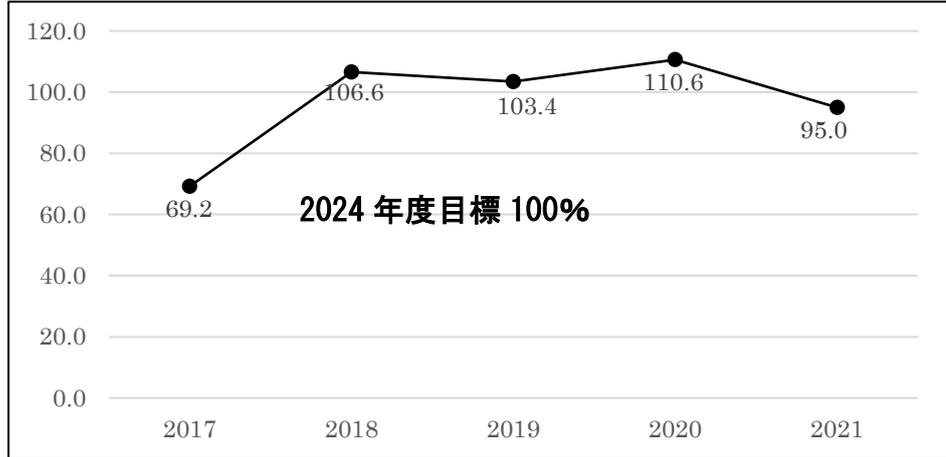
柱3 生活環境の維持・保全

【3-1成果】公害苦情の相談件数(件) (低減目標)



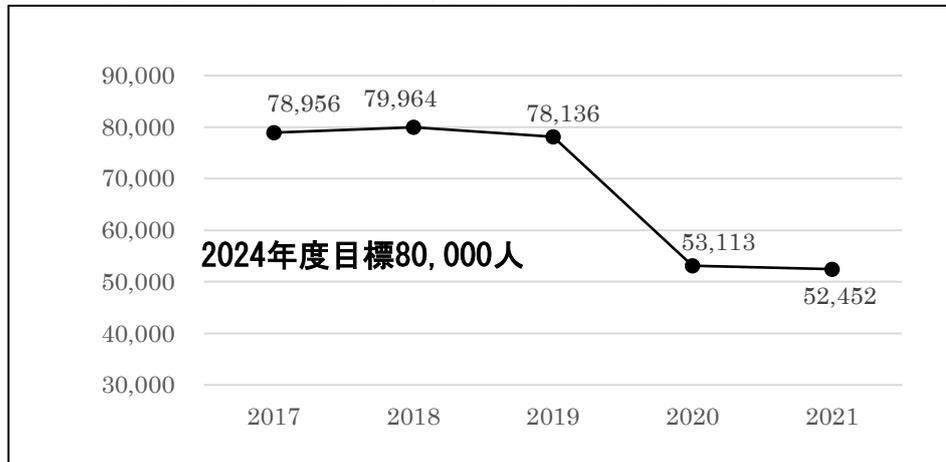
前年度に引き続き、日中の在宅増により、近隣の工事音等に関する苦情が多く寄せられたことが実績に影響している。

【3-1活動】公害苦情相談の解決率（解決件数／受付件数）（％）



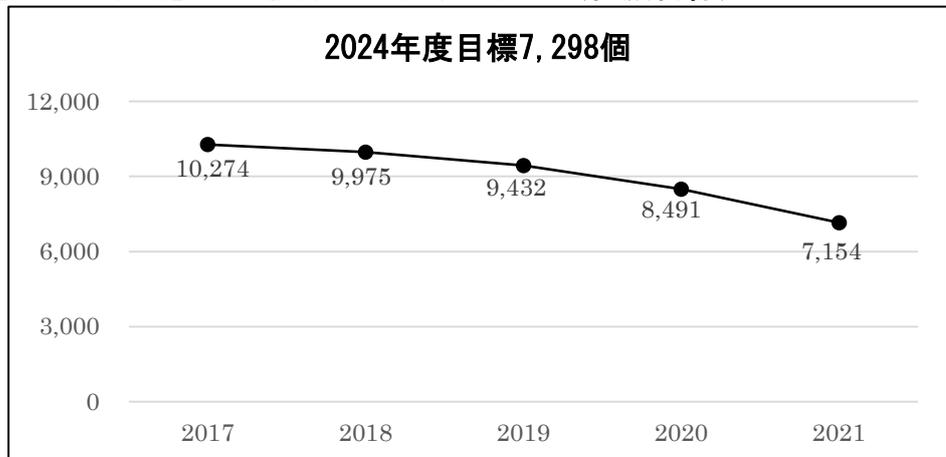
当該年度の相談件数と処理済み件数で算定しているため、年度をまたぐ場合などは解決率が100%を上回るケースもある。

【3-2活動】ごみゼロ地域清掃活動の参加者数（人）



前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により参加者数は減少している。

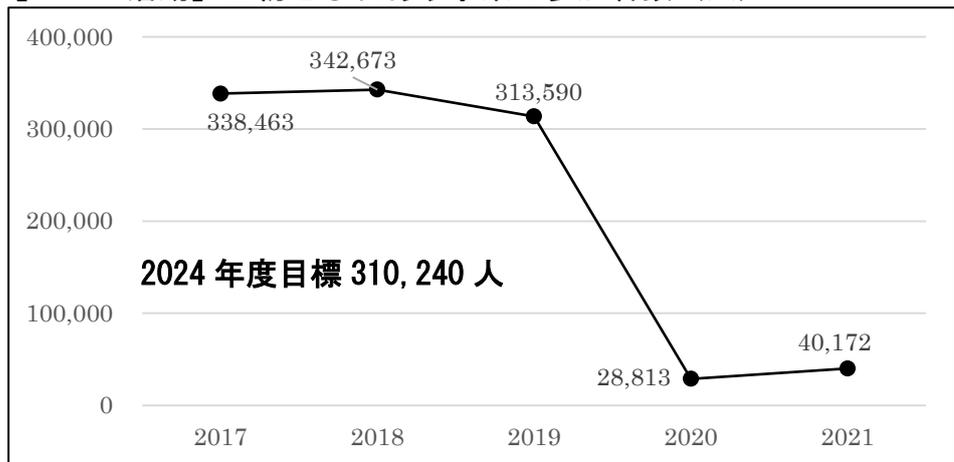
【3-2活動】不法投棄処理個数（個）（低減目標）



不法投棄され、区が処理したごみ、自転車、バイク、家電の合計。不法投棄数はピーク時（平成24年度）の約20,000個から約64%減少。

柱4 自然環境・生物多様性の保全

【4-1活動】生物とふれあう事業の参加者数（人）



生物園、都市農業公園、桑袋ビオトープ、荒川ビジターセンターの事業および野鳥観察会、あだち自然体験デー、環境学習ツアーの参加者数
新型コロナウイルスの影響で事業の中止や規模の縮小により、参加者数は前年度並みであった。

【4-1活動】自然や生物に関する情報発信回数（回）

令和2年度実績からの新規調査項目

環境部、生物園、都市農業公園、桑袋ビオトープ、荒川ビジターセンターからの自然や生物に関する情報発信回数（ホームページ、SNS、チラシ、広報紙など）

2021年度実績 3,094回

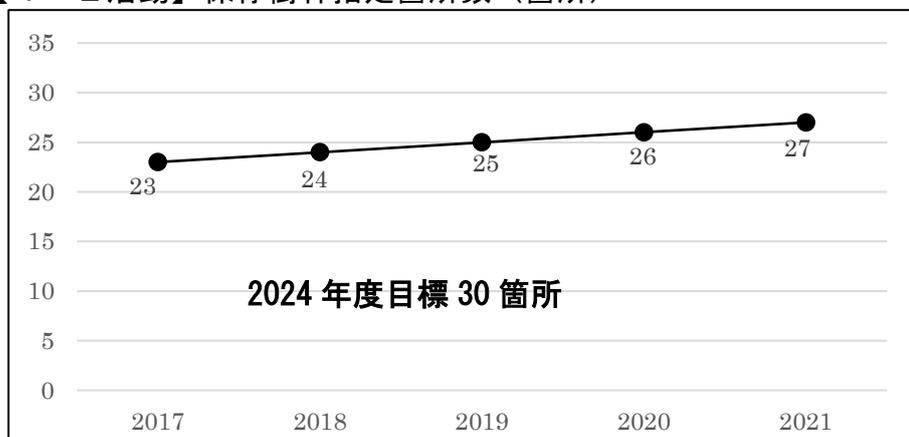
2021年度実績 2,838回

【4-2成果】まちなかの花や緑が増えていると感じる区民の割合（%）

2021年度実績 62.9%

2021年度世論調査より質問項目が「まちなかの花や緑が多いと感じる区民の割合」に修正されたことを受け、実績値が大幅に上昇した。⇒目標値を**64.4%**に修正（緑の基本計画）

【4-2活動】保存樹林指定箇所数（箇所）



区が保存樹林として指定した箇所数。樹木の一集団が占める土地の面積300平方メートル以上が対象。

【4-2活動】緑豊かな景観形成に取り組む団体・区民の数

公園等の管理、花壇や緑地・大木の管理、緑によるまちの美化、農業支援などに取り組む団体や区民の数

2021年度実績 1,218 (団体774、個人444)

柱5 学びと行動のしくみづくり

【5-1活動】環境に関する情報発信回数(回)

2020年度実績 330回

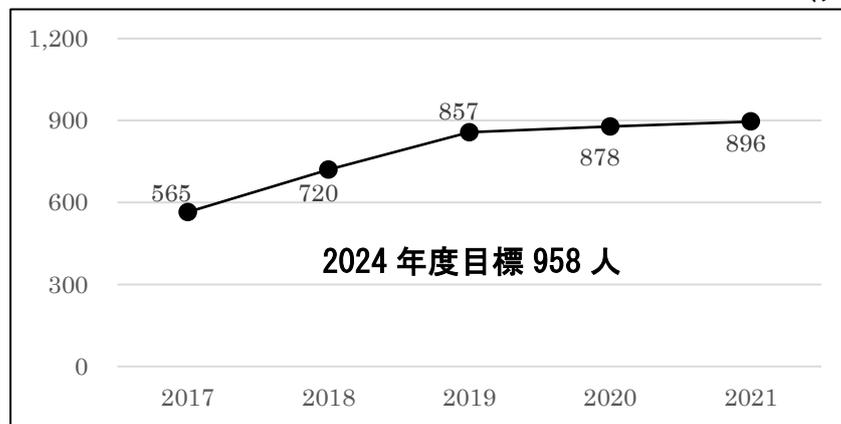
2021年度実績 529回

環境部がSNS、広報紙、チラシ、ポスター等で環境に関する情報を発信した回数。

課内の持ち回りで、定期の情報発信を行うなど、方法の見直しが行われた結果、2021年度実績は529回と前年度を大きく上回った。

【5-1活動】環境学習プログラムに参加し、修了した人の数(累計)

(人)



2021年度はあだち環境ゼミナール(年10回の連続講座)を修了し、レポート提出等要件を満たしたことであだち環境マイスターに認定された18名が実績として追加された。

【5-2成果】自主的な環境保全活動数(回)

2020年度実績 992回

2021年度実績 4,174回

内訳

- ・エコ活動ネットワーク足立登録団体活動数 305回
- ・野鳥モニター自主活動数 243回
- ・環境基金採択事業 2回
- ・フードシェアリングサービス利用回数 3,624回

エコ活動ネットワーク足立登録団体の活動数とフードシェアリングサービス利用回数が前年度に比べ大幅に増加している。

【5-2活動】区が実施する環境配慮を促す事業の数（事業）

2020年度実績 60事業

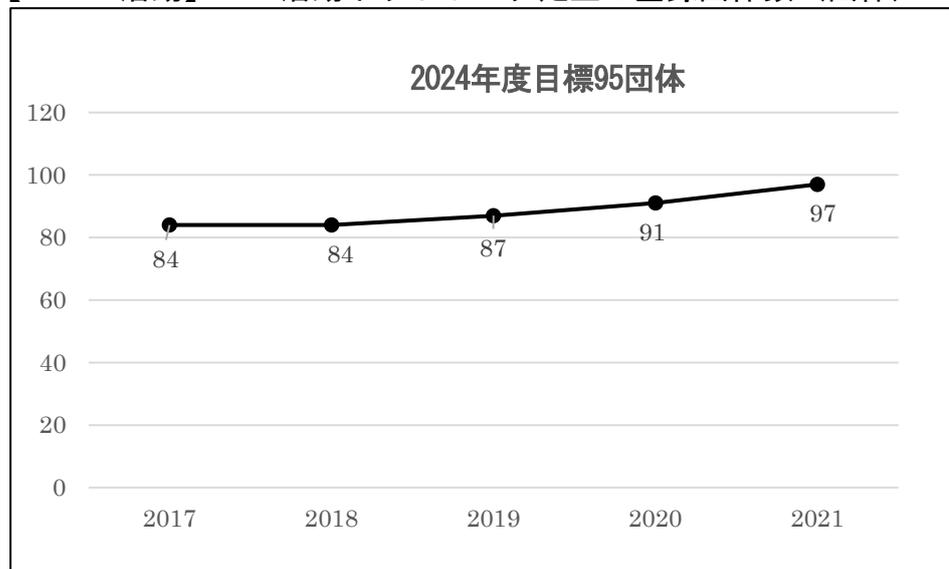
2021年度実績 69事業

行政評価（事務事業評価調書）で環境に配慮していると回答した事業のうち、環境配慮を対外的に周知・アピールしている事業の数。

主な取組みと周知・PR

- ・ 周知用冊子等への再生紙や植物性インクの使用について掲載
- ・ 施設の照明間引き、室温調整等についての取組を掲示
- ・ 講座・イベントの開催通知やHPでの案内で公共交通の使用を推奨
- ・ SDGs をテーマに小規模なイベントを開催したことで、環境問題を外の社会問題と関連づけて多面的に啓発

【5-2活動】エコ活動ネットワーク足立の登録団体数（団体）



エコ活動ネットワーク足立（EANA）

団体、事業者等の環境活動に関する情報発信や交流、区の環境行政との協働を目的とした登録制のネットワーク

問題点
今後の方針

2021年度の進捗状況を庁内に周知するとともに、ホームページ等で情報発信し、目標達成に向けて引き続き取り組んでいく。

産業環境委員会報告資料

令和4年9月27日

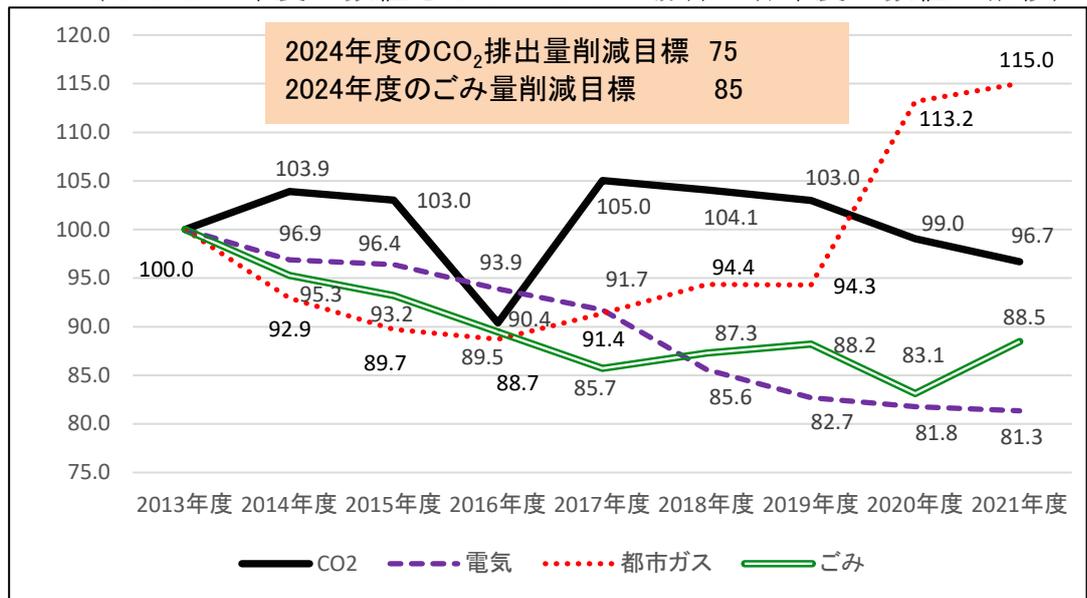
件名	脱炭素ロードマップの検討状況について
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>二酸化炭素排出実質ゼロに向けた具体策をまとめた「脱炭素ロードマップ」を2023（令和5）年4月を目途に策定する。現在の検討状況について以下のとおり報告する。</p> <p>1 環境審議会への諮問</p> <p>環境審議会に諮問し、審議会の審議事項とすることで、学識者の専門的知見や区民目線での意見を反映させたロードマップとして策定していく。</p> <p>(1) 諮問日 令和4年9月9日（金）（令和4年度第2回環境審議会開催日）</p> <p>(2) 諮問期間 令和5年2月まで 令和4年度第4回環境審議会にて答申案を取りまとめる予定</p> <p>2 具体策等の検討状況</p> <p>別添資料1，2参照</p> <p>3 環境審議会における主な意見</p> <p>9月9日（金）開催の環境審議会では以下のような意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P D C A サイクルに加え、脱炭素化に取り組むすべての主体が自ら状況を判断し意思決定、行動に移すOODAの考え方を取り入れ、区民や事業者の主体的な取組を促すことにつなげてほしい。 ・ 太陽光パネルの設置により光の反射などによるトラブルも発生している。設置の促進と併せ、注意喚起も行っていくべき。 ・ リユース目的で廃家電を発展途上国へ輸送することにより環境汚染が発生している事例がある。リユース事業を実施する際には、必要とされるものだけを見極めて収集することが重要となる。 ・ CO₂排出実質ゼロは実現可能であることを区民に伝えることがロードマップの意義である。まずは知ってもらい行動変容を促すことが重要である。
問題点 今後の方針	環境審議会でもいただいたご意見等を踏まえ、区民や区内事業者の行動変容促進につながる具体策等を検討し、ロードマップの策定を進めていく。

産業環境委員会報告資料

令和4年9月27日

件名	区施設における二酸化炭素排出量、ごみ量について																				
所管部課名	環境部環境政策課																				
内容	<p>令和3年度（2021年度）の区施設における二酸化炭素（以下「CO₂」という。）排出量、ごみ量の実績がまとまったので、その概要を報告する。</p> <p>なお、足立区公共施設地球温暖化対策推進実行計画（以下「実行計画」という。）の削減目標と比較しやすくするため、以下、西暦で表記する。</p> <p>1 対象施設</p> <p>本庁舎、区民事務所、住区センター、生涯学習・スポーツ施設、福祉事務所、保健センター、小・中学校、保育園、区道の街路灯など</p> <p>2 2021年度のCO₂排出量、ごみ量、電気・都市ガス使用量</p> <table border="1" data-bbox="437 898 1426 1160"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>前年度比</th> <th>2013年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO₂排出量</td> <td>35,812 t</td> <td>▲2.4%</td> <td>▲3.3%</td> </tr> <tr> <td>ごみ量</td> <td>2,344 t</td> <td>6.4%</td> <td>▲11.5%</td> </tr> <tr> <td>電気使用量</td> <td>57,937,700kWh</td> <td>▲0.5%</td> <td>▲18.7%</td> </tr> <tr> <td>都市ガス使用量</td> <td>3,891,106m³</td> <td>1.6%</td> <td>15.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>避難所での停電時の使用を想定し、区内全小・中学校の体育館にガスヒートポンプ・エアコンを設置したため、都市ガス使用量が2013年度比で増加している（令和元年度1校、令和2年度91校に設置）。</p> <p>3 実行計画の進捗状況</p> <p>（1）実行計画の2024年度の目標</p> <p>CO₂排出量 2013年度比▲25%</p> <p>ごみ量 2013年度比▲15%</p> <p>※ 現在、実行計画は見直しを行っており、脱炭素ロードマップと合わせ令和5年4月に策定予定。</p>		2021年度	前年度比	2013年度比	CO ₂ 排出量	35,812 t	▲2.4%	▲3.3%	ごみ量	2,344 t	6.4%	▲11.5%	電気使用量	57,937,700kWh	▲0.5%	▲18.7%	都市ガス使用量	3,891,106m ³	1.6%	15.0%
	2021年度	前年度比	2013年度比																		
CO ₂ 排出量	35,812 t	▲2.4%	▲3.3%																		
ごみ量	2,344 t	6.4%	▲11.5%																		
電気使用量	57,937,700kWh	▲0.5%	▲18.7%																		
都市ガス使用量	3,891,106m ³	1.6%	15.0%																		

(2) CO₂排出量、ごみ量、電気・都市ガス使用量の推移
 (2013年度の数値を100とした場合の各年度の数値の推移)



4 電気事業者の排出係数

区が電力を調達している事業者の排出係数（調達量順上位5社）
 （排出係数：1kW発電する際のCO₂排出量 単位kg）

事業者名	2019	2020	2021	2021 調達量 (kWh)
東京電力エナジーパートナー株式会社	0.462	0.441	0.441	31,204
株式会社Fパワー	0.513	0.513	0.481	18,764
丸紅新電力株式会社	0.542	0.484	0.496	4,976
エネサーブ株式会社	0.707	0.636	0.568	1,487
ミツウロコグリーンエネルギー株式会社	0.474	0.491	0.462	1,037

問題点
 今後の方針

CO₂排出量、電気使用量は、前年度より微減し、基準年度も下回っている。ごみ量の増加については、新型コロナウイルス感染対策として施設の休館や学校等の休業により減少した令和2年度からの比較であることが要因と考えられる。

この結果を区内に周知し、省エネ、ごみ減量の意識を高めていくとともに、引き続き総合的、計画的に取組を進め、現在見直しを行っている実行計画の削減目標達成を目指していく。

産業環境委員会報告資料

令和4年9月27日

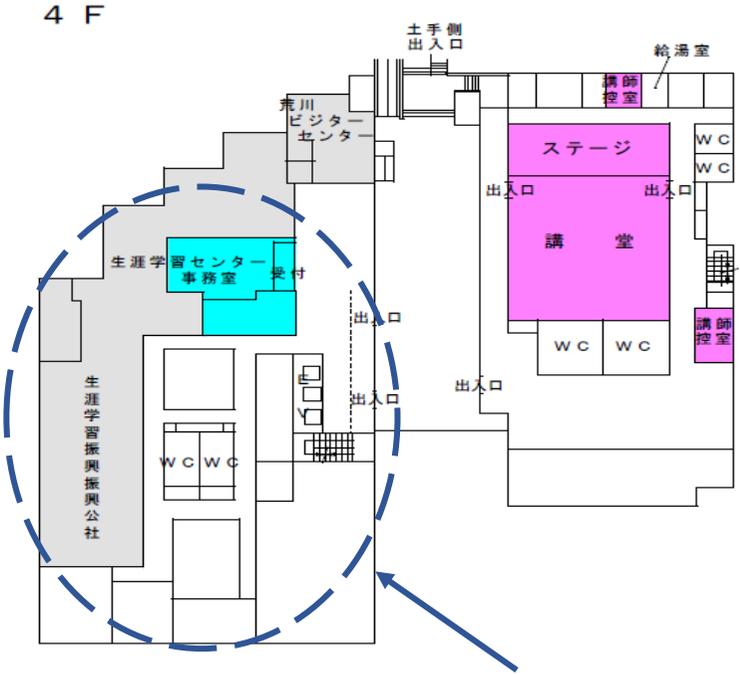
件名	あだち再生館機能の移転について								
所管部課名	環境部環境政策課								
内容	<p>あだち再生館が令和5年9月に閉館するため、再生館機能を学びピア21に設置する方向で以下のとおり調整を進めていく。</p>								
	<p>1 設置時期 令和5年10月～令和6年3月 委託（再生館事業者） 令和6年4月～ 生涯学習センター指定管理者による事業展開（予定）</p>								
	<p>2 あだち再生館移転後の機能 再生館から学びピア21への移転に伴い、取り扱うテーマはリサイクルから、地球温暖化による気候変動等の幅広い環境問題へと拡大する。</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="411 1070 619 1122">機能</th> <th data-bbox="627 1070 1002 1122">現行</th> <th data-bbox="1010 1070 1493 1122">今後（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="411 1133 619 1603">情報収集・発信</td> <td data-bbox="627 1133 1002 1603"> <ul style="list-style-type: none"> 再生館だよりの発行 あだち広報及び区HPで講座の案内 環境に関する図書コーナーの設置 庁内の関連事業、都や国、環境活動団体の事業の情報収集と発信 </td> <td data-bbox="1010 1133 1493 1603"> <ul style="list-style-type: none"> 再生館だよりのリニューアル HP・SNS等での情報発信の拡充 中央図書館と連携した環境に関する図書の紹介 庁内の関連事業、都や国、環境活動団体の事業の情報収集と発信 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1615 619 1964">施設内講座・展示</td> <td data-bbox="627 1615 1002 1964"> <ul style="list-style-type: none"> リサイクル等をテーマにした講座、ワークショップの開催 再生館ロビーでのパネル展示（常設展示） </td> <td data-bbox="1010 1615 1493 1964"> <ul style="list-style-type: none"> 環境をテーマにした講座、ワークショップの開催 学びピア21の1、2階ロビーでパネル展示（企画展示） 荒川ビジターセンターと連携した事業実施 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	現行	今後（予定）	情報収集・発信	<ul style="list-style-type: none"> 再生館だよりの発行 あだち広報及び区HPで講座の案内 環境に関する図書コーナーの設置 庁内の関連事業、都や国、環境活動団体の事業の情報収集と発信 	<ul style="list-style-type: none"> 再生館だよりのリニューアル HP・SNS等での情報発信の拡充 中央図書館と連携した環境に関する図書の紹介 庁内の関連事業、都や国、環境活動団体の事業の情報収集と発信 	施設内講座・展示	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル等をテーマにした講座、ワークショップの開催 再生館ロビーでのパネル展示（常設展示） 	<ul style="list-style-type: none"> 環境をテーマにした講座、ワークショップの開催 学びピア21の1、2階ロビーでパネル展示（企画展示） 荒川ビジターセンターと連携した事業実施
機能	現行	今後（予定）							
情報収集・発信	<ul style="list-style-type: none"> 再生館だよりの発行 あだち広報及び区HPで講座の案内 環境に関する図書コーナーの設置 庁内の関連事業、都や国、環境活動団体の事業の情報収集と発信 	<ul style="list-style-type: none"> 再生館だよりのリニューアル HP・SNS等での情報発信の拡充 中央図書館と連携した環境に関する図書の紹介 庁内の関連事業、都や国、環境活動団体の事業の情報収集と発信 							
施設内講座・展示	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル等をテーマにした講座、ワークショップの開催 再生館ロビーでのパネル展示（常設展示） 	<ul style="list-style-type: none"> 環境をテーマにした講座、ワークショップの開催 学びピア21の1、2階ロビーでパネル展示（企画展示） 荒川ビジターセンターと連携した事業実施 							

	出張講座・展示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域学習センターでの出張講座 ・ 保育園、幼稚園での出前講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域学習センターや民間施設等での出張講座、ワークショップの実施 ・ 保育園、幼稚園、小・中学校での出前講座
	交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動団体への場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動団体や環境マイスターの交流及び活動発表等の場の提供
<p>※ 令和6年4月以降の事業展開については、今後、調整をしていく。</p> <p>3 あだち再生館機能移転後のフロアイメージ図 別紙のとおり</p>			
問題点 今後の方針	あだち再生館機能移転後の運営について、関係所管と協議をしていく。		

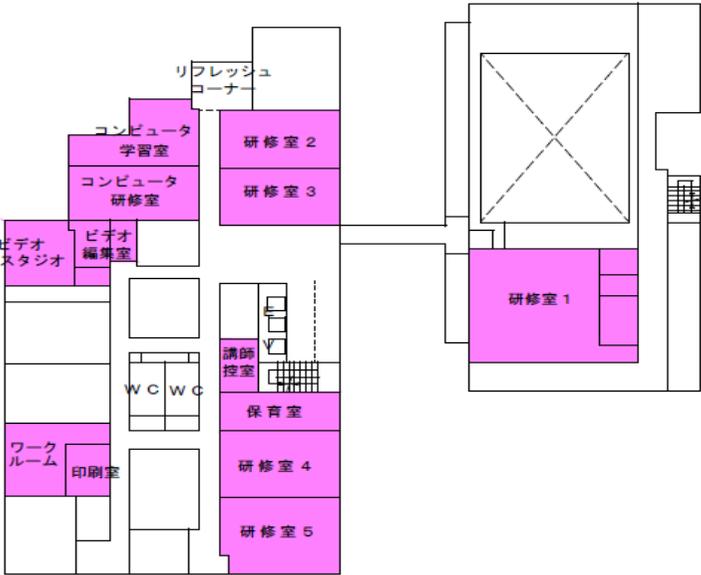
学びピア21 施設内見取り図

- 【移転後の事業内容】**
- ・ 出張講座
 - ・ 情報発信
 - ・ 環境団体等交流
 - ・ ワークショップ
 - ・ 企画展示 (1,2階ロビー)

■ 貸出可能エリア
 ■ 受付・事務室
 ■ その他



5 F



移転先事務室 学びピア21・4階

産業環境委員会報告資料

令和4年9月27日

件名	清掃事業現業職員の令和4年度採用選考実施について
所管部課名	環境部足立清掃事務所
内容	<p>持続可能な清掃事業体制に向けて、「定員管理指針（令和4年8月改定）」に基づき、以下のとおり現業職員の令和4年度採用選考を公募のうえ実施する。</p> <p>1 採用職種および人数 (1) 技能VI（ごみ収集作業に従事） 4名（予定）</p> <p>2 受験資格（概要） (1) 昭和63年4月2日以降に生まれた者 (2) 国籍、性別は問わない (3) 地方公務員法等の規程に抵触する場合は受験できない</p> <p>3 採用年月日等 令和5年4月1日 なお、給料、勤務時間、休暇等は区の条例に則る。</p> <p>4 選考の方法（概要） (1) 募集要領交付 令和4年9月15日（木）より以下の場所で交付 ・ 人事課人事係 ・ 中央館1階総合案内 ・ 各区民事務所 ・ 中央図書館 ・ 総合スポーツセンター ・ 足立清掃事務所 ※ あだち広報、区ホームページ、SNS等で周知 (2) 受験申込期限 令和4年10月3日（月） (3) 第一次選考 令和4年10月16日（日） 筆記試験および作文試験 (4) 第二次選考 令和4年11月下旬（予定） 面接および体力測定</p>
問題点 今後の方針	令和5年度以降は、職員体制を毎年度精査し、必要数を見極めたうえで採用を行っていく。

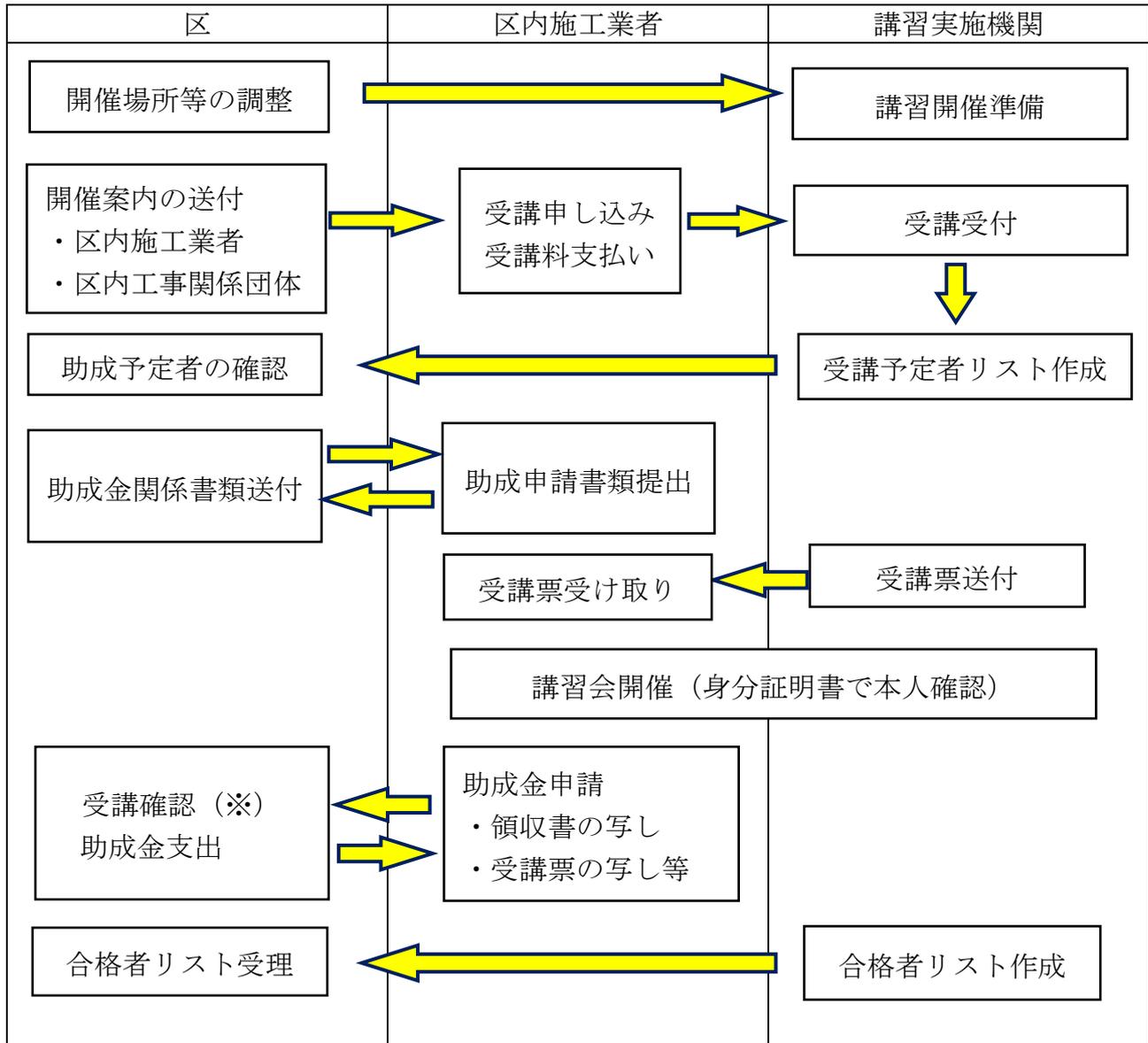
産業環境委員会報告資料

令和4年9月27日

件名	アスベスト事前調査の資格取得講習会の開催について
所管部課名	環境部生活環境保全課
内容	<p>大気汚染防止法の改正により、解体・改修工事の際のアスベスト事前調査を有資格者が行うことが、令和5年10月から義務付けられる。</p> <p>これまでの区内施工業者へのアンケートや区内工事関係団体への説明会で、資格取得講習会の開催や費用についての要望があったため、以下のとおり講習会を開催し、受講費用を助成する。</p> <p>1 目的</p> <p>区内で実施される解体・改修工事について、アスベスト調査が適切に行える体制を構築し、区民のアスベスト暴露の可能性を低減させる。</p> <p>2 取得資格</p> <p>一般建築物石綿含有建材調査者</p> <p>3 募集人数および開催時期</p> <p>令和4年度の開催予定は以下のとおりである。</p> <p>(1) 開催場所 勤労福祉会館仮施設（旧江戸一万来館 綾瀬四丁目10番6号）</p> <p>(2) 開催時期 令和4年12月～令和5年3月にかけて4回開催</p> <p>※ 令和5年度も同様の講習会を開催する予定（開催場所は未定）</p> <p>(3) 募集人数 50人／回</p> <p>4 助成金</p> <p>(1) 助成予定金額 27,500円（助成率 1/2）</p> <p>(2) その他 区開催以外の資格講習受講者に対して、産業経済部の「産業技術・経営研修会助成金」として令和4年度150人、令和5年度150人に助成を予定している。</p>

	<p>5 講習実施機関（予定）</p> <p>(1) 一般財団法人 日本環境衛生センター</p> <p>(2) 一般社団法人 企業環境リスク解決機構</p> <p>6 周知方法</p> <p>(1) 区内施工業者（約2,700社）に開催案内を郵送</p> <p>(2) 区内工事関係団体へ周知を依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 足立管工設備協力会 ・ 足立区電気工事業協会 ・ 足立建設業協会 ・ 足立消防・通信協力会 ・ 東京土建 足立支部 <p>7 講習会開催の流れ</p> <p>別紙のとおり</p>
<p>問 題 点 今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助成費用は令和4年9月補正に計上予定であり、同補正予算が議決を得られた際には、速やかに講習会の開催準備を行う。 ・ 日程、開催方法等について講習実施機関と調整を行い、できるだけ早い時期の講習会開催を目指していく。 ・ 講習会の定員に空きが生じた場合、区外の施工業者などの受講も認めることとする（助成金対象外）。

講習会開催の流れ



※ 受講者リスト、領収書の写し、受講票の写し等で受講確認を行い、助成金を支出する。